



これからの学びの方向性を考える ~AI 時代に身につけるべき資質・能力~

校長 風間 浩也

今年は、学校の周りの「桜もみじ（桜の紅葉）」がひときわ鮮やかです。木々の紅葉には、日照の変化、気温の変化、水分量、葉内の糖度、樹種や個体差などの一定の条件によって色づきが変わるそうです。今年の鮮やかさは、芦花の桜の紅葉にとって適した気候が続いたからなのでしょう。個人的には、私が芦花中学校から見る桜で最も気に入っている景色は、2階の「協働学習室4（元パソコン室）」から眺める北側の正門付近の桜の姿です。教室の窓枠を額縁にして、あたかも狩野派のふすま絵のような構図でたなびく桜の枝振りが、春には目を楽しませてくれます。今年は、新たに秋にも楽しみを与えてくれると気づくことができました。桜の紅葉は、条件によっては茶色く干からびたようになつたり、風にすぐに吹き飛ばされたりしてしまうこともありますが、今年の学校の桜は、秋の季語である「桜もみじ」という言葉にふさわしく、黄、オレンジ、朱など、多様なグラデーションで桜の木々全体を彩っています。

ところで、「一定の条件」によって紅葉の色が多様に変化する木々の葉のように、教育も同じ教材・教科書を使っていても、その教え方や使う教具によって現れる効果が全く違ってしまいます。例えば、国語の教科書に昔からある教材も、今の時代ではその教材の学び方は10年前とは違っています。タブレットによって、手元ですぐに調べたり、音声や画像や動画を自在に使ったり、考えを共有したりすることができるようになっています。ただ、その使い方を誤ると、「分かった気」になっただけで、真に必要な力が身についていないということになってしまいます。

コロナ禍の中でスタートした「GIGAスクール構想」において、これからの教育の特効薬、魔法の杖のように登場した「一人一台タブレット」ですが、果たして、現在、本当に効果的な使われ方をしているのか、ずっと気になっています。他校の様々な優れた実践や本校の授業を観察していく中、「タブレットを使えばいいのに」と思う場面と同じくらい、「ここはタブレットを使わない方が、調べる力や考える力が身につくのではないか」と感じる場面にも遭遇します。「生成AIが代わりに調べたり、考えたりしてくれる時代になるから大丈夫」という論調も目にすることがありますが、私はそのことに疑問を感じています。学習にAIやタブレットが気軽に使えて便利な世の中だからこそ、どのタイミング、どの条件で使うのかなど、しっかりと教える必要があると思います。特に、教育の場面においては、時には「コスパ」や「タイパ」は度外視して、あえて手間ひまをかけて、じっくりと腰を据えて取り組むことも必要だと、最近強く思っています。

この夏に、何人もの教員志望の学生に対して採用面接の練習をしましたが、面接票に書かれている「志望理由」について、少し突っ込むとしどろもどろになってしまふ学生が少なからずいました。理由は、生成AIに丸投げして自分の「志望理由」を書いているからだと分かりました。述べられていることが自分の血肉になつてないため、生身の人間とのやりとりに耐えうるものにはなつてないのです。（これから志願申告書などを書く受験生は注意してください。）私は、生成AIの使用自体をダメだと言ってはいません。実際にこの文章を書くに当たって、「紅葉の条件」などはChat GPTに聞きながら材料を集めました。技術の進歩によって作られる社会は不可逆的なものです。もうスマホや生成AIなしの社会には戻れないでしょう。だからこそ、教育現場である学校においても「便利な道具」の使い方をしっかりと考えなければなりません。必要なのは「使わせないこと」ではなく、「使うための資質」の育成とそれを「指導する教育力」です。

文部科学省では次期学習指導要領の改訂に当たって、現在、様々な議論が行われています。「情報・技術」のワーキンググループでは、「小学校低学年における情報活用能力の育成の具体」についても議論しています。小学校1年生で、文字を手で「書く」ことを習得するのと同時に、キーボードで文字を「打つ」ことも一緒に進めていく方向のようです。「書く」と「打つ」を同時に教える教育を受けた子どもたちが、今後どのようなことに直面していくのか、注視していく必要があるでしょう。文字を「打つ」ことを身につければ、必然的にスマホやタブレットを介して、低学年から世界へ発信する術も身につけることになつていくのです。情報リテラシー教育も必然的に低年齢化していくでしょう。一方で、もしかしたら、「書く」という肉体的な行為の制限から解き放たれて、低学年から驚くべき言語表現をすることが可能になるかもしれません。また、「書く」ことが苦手な子にとっては、朗報かもしれません。しかし、一方で、それによって失われるものが何かは、まだ誰も分かっていないのが現状です。本校も区や都の指定を受け、研究を継続していきます。

現在の教育現場で直面している「生成AI導入期」のこれらの課題は、後々振り返ると歴史上の大きな転換期であるかもしれません。本校においても、今日的な課題をしっかりと見据えた上で、来年度の教育課程の編成について検討しているところです。今回、2学期の行事における保護者や地域の方からのご意見やご感想を掲載しました。温かいお言葉に対して、感謝の気持ちでいっぱいです。各行事をご覧いただけなかった方々も、文章から本校の様子を読み取っていただけましたら幸いです。次年度の教育活動にもご意見をしっかりと反映していきたいと思います。

11月の行事～校内、校外、地域での活躍が盛りだくさんの1ヶ月でした！～

【上北沢文化祭】11/1(土)

STEP茶道部が、上北沢文化祭で地域の方々にお点前を披露しました。日頃のお稽古の成果を存分に発揮して丁寧にお抹茶を点てて、たくさんの方に喜んで頂いていました。心を込めて点てたお抹茶が大好評でした。



【セイフティーレッスン】11/7(金)

今年度は、1～3年生、1組も合同で実施しました。テーマは「闇バイトや特殊詐欺の加害者・被害者にならないために」。弁護士、警察官の方にお越しいただき、講演と寸劇を見せていただきました。意見交換会では、保護者・地域の方も交えて子どもたちが犯罪に関わらないためにできることを考えました。



【芦花の学び舎児童生徒会集会】11/10(月)

芦花小、芦花中の全児童、生徒が集まり、生徒会主催の大○×クイズ大会を行いました。「からぴょんのくばしは黄色、○か×か?」など、芦花の学び舎にちなんだクイズで大盛り上がり！小学生をエスコートする中学生。小中の笑顔の交流が微笑ましかったです。



【英語スピーチコンテスト】11/5(水)

成城ホールで実施されたスピーチコンテストに、芦花中学校から3名の代表生徒が参加しました。保護者や世田谷区の英語科の先生方等、たくさんの観客が見守る中、ジェスチャーを交え、堂々と発表していました。日頃の学習に加え、放課後もALTや英語科の先生方とともにたくさん練習を重ねてきました。努力の成果を発揮し、大変立派でした！



【フィールドフェスティバル】11/9(日)

祖師谷公園で行われたイベントに、芦花中の有志生徒が「Candy Pastel」の屋台を出店する形で参加しました。お店の企画や準備も地域の方と一緒に行いました。フルーツ水飴に、トッピングを1回、じゃんけんで勝つと2回できます。副校長先生は7つも食べました。とっても美味しかったです！地域に貢献し、笑顔をくれた1日でした。ありがとう！



【合同マラソン大会 I組】11/20(金)

よく晴れた秋の空の下、大蔵総合運動場にて、合同マラソン大会が実施されました。この日に向けて、冷たい風の中でも一生懸命、練習に励んできました。本番は、それそれが、自分の目標に向けて、粘り強さを発揮した走りを見せていました。走り終えた後は、達成感に満ちた、とてもすがすがしい表情でした。お疲れ様でした。



空から芦花小中を見てみよう。世田谷区全面協力 ドローン撮影！



世田谷区には、「ドローンチーム」があるのをご存知でしょうか。

10月に毎年実施されている「多摩川花火大会」の空撮等を行っている部署で、「世田谷区政策経営部政策企画課」の中にはあります。芦花中もトイドローンと呼ばれる小型ドローンを2台所有していますが、世田谷区には、資格がないと操縦できない本格的なドローンが数機あり、ドローン操縦士の資格をもった職員の方々がいらっしゃいます。今夏に、教員向けのドローン研修会を実施したことをきっかけに、「何か学校と連携できないか」とお話をいただき、今回、小中児童生徒会朝会の一場面を撮影していただきました。今後、学校紹介動画等に活用させていただく予定です。また、3年生は卒業アルバム用の学年写真も、空中から撮っていました。昔はヘリコプターから…。すごい時代になりました。今後、ドローンを生徒会活動や学習面で活用する場面が増えるかもしれません。



12月の主な行事予定



1日（月）	全校朝礼、三者面談（～5日（金） 平和巡回展 @2F廊下（～9日（水））観覧可	16日（火）	学校関係者評価委員会
8日（月）	専門、中央委員会	22日（月）	生徒会朝礼
10日（水）	避難訓練、職員会議	24日（水）	大掃除
12日（金）	1年生校外学習（都内）	25日（木）	学年集会、終業式、職員会議

※インフルエンザが流行っています。マスクの着用等、感染症予防に努めましょう。

※3学期の始業式は1月8日（木）です。持ち物等は各学年によりてご確認ください。



学芸発表会、道徳地区公開講座へのご参観ありがとうございました。

★学芸発表会（舞台の部）について 保護者アンケート〔一部抜粋〕

- ・校長先生はじめ先生方が何を大切にされているのかが、行事の中ではっきりと感じる事ができる事に、感謝の思いが込み上げてきました。
- ・3年生、創作ダンスさすがでした。MCも良かったです、楽しませていただきました。
- ・知的探求心を刺激する弁論、学園祭のようなエネルギーに満ちた個性が光るダンス。合唱は心に響くハーモニーで感動いたしました。
- ・午前中で全て観終わったら、なお嬉しいです。
- ・合唱は、学年が上がる毎に声量が上がり、一生懸命に取り組む姿勢が上がるよう感じました。特に3年生は選曲も良く、素晴らしいでした。
- ・どの学年もすばらしい歌声でした。先生たちも素晴らしいです。さすがは三年生！声量もあり感動しました。
- ・ダンスも楽しく見させてもらいました。盛り上がりで雰囲気がいいなと思いました。
- ・弁論や英語のスピーチ、3年生はダンスもあり、とても楽しく拝見しました。かけ声や笑い声が聞こえ、とても良い雰囲気を感じました。
- ・盛り上がるところは盛り上がり、聴くときは静かに聴く姿勢が見られ、生徒たちの態度も素晴らしいです。感動の機会をありがとうございました。
- ・3学年同時の行事だったので、学年を追うごとにさまざまな成長が見られて素敵でした。特に3年生のダンスは、どのチームも楽しそうで、自分たちで今までダンスを作り上げて来たという喜びも感じられました。各発表後の子どもたちの拍手が大きく、心がこもっていて、気持ちのよいものでした。最初はダンスの後に合唱という演目の順番が不思議だと思っていました。しかし、ダンスの終わった後の高揚感で、次の合唱にうまくつながっていると思いました。
- ・先生方の合唱も本格的で素晴らしいです。楽しい一日をありがとうございました。
- ・伴奏は生ピアノがよかったです。今後はぜひ伴奏者を入れて欲しい。順番は同じ曲が続いたら調整してもよいのでは？
- ・パソコン部の「芦花中クイズ」の盛り上がりにビックリしました。とても楽しい雰囲気で、良い生徒さんばかりだと思いました。
- ・合唱を鑑賞しました。1年生はインフルエンザ流行で万全の状態で出来ない中でもとても頑張っていました。
- ・初めてで、どんな感じでやるのか分からなかったのですが、3年生の創作ダンスは、とても可愛らしく、かっこよく、素敵でした。1、2年生があんなに盛り上がっていたことには、驚きました。合唱は、昔の自分を思い出し、懐かしくなりました。合唱クラブでも歌っていた曲もあったので、嬉しかったです。1年生は、まだ恥ずかしさもあるのか声が小さかったです。学年が上がる毎に、変化があり、また、来年が楽しみになりました。先生方の歌には、心打たれました。ありがとうございました。
- ・みな一生懸命歌っていて、歌声と表情に感動しました。先生方の歌も普段は聞くことができないので貴重な機会でした。お忙しい中、ありがとうございました。
- ・ダンスも合唱も、生徒の皆さんが心から楽しんでいる様子が伝わってきて、観ているこちらも笑顔になりました。学校全体の雰囲気がとても良く、生徒たちがいきいきとしていて素敵だと思いました。職員室チームの合唱良かったです！先生方の頑張りを生徒達は見ているんだと思いました。ご指導くださいました先生方にも感謝いたします。とても楽しい発表会をありがとうございました。
- ・思っていた以上に楽しい時間でした。舞台の左に出る演目の目次も素敵でした。1組の合奏は涙が出て感動しましたし、3年生のダンスはあんなに下級生たちも一体になって盛り上がるのかと驚きました。楽しい学校、仲が良い学校なのだからと安心しました。
- ・学年ごとの表彰があると、全学年盛り上がると思います。
- ・学校の雰囲気やクラスの様子がわかり、また、みんなで一丸となって発表している姿がとても良かったと思います。
- ・職員室の方の歌もあり、生徒と一緒に参加していくよい雰囲気でした。上手でした。
- ・生徒も先生方も楽しんで発表している姿が良かったです。合唱はどのクラスも甲乙つけ難くみんなに大きな拍手を送りたいです。
- ・英語スピーチコンテストは出来れば日本語訳を投影して頂けると分かり易いように思いました。
- ・全体を通じて弁論、英語スピーチ、ダンス、合唱等、日頃の練習の成果を見させて頂き、大変楽しめました。有難うございました。
- ・ダンスもそれぞれのチームに工夫が見られ、会場もすごく盛り上がって楽しめました。衣装を揃えるのは大変だと思うので、クラスカラーのリストバンドとかリボンとか、少しでもあればもっと華やかでさらに盛り上がりそうだなと思いました。
- ・先生方の合唱はとても良かった。一生懸命歌う姿は、生徒たちのみならず、保護者に対しても良い影響を与えられると思うので、来年も続けてほしい。ありがとうございました。

★道徳授業地区公開講座について 保護者アンケート〔一部抜粋〕

〔授業について〕

- ・相手の立場に立つことの大切さを学べるとしてもよい授業だと思いました。
- ・こういう考え方には差別に繋がりますよと教え、どうしたら差別を防げるのか考えさせる事は良いと思う。ただ、実際自分が差別された場合、どのように対処するか考えてもらうという時間があったらより良いと思った。海外に行けば差別される側になるかもしれませんから。
- ・いろんな角度(立場から)の考え方、見方について議論されていてよかったです。また、iPadでそれぞれの考えを一気に共有できるのは現代ならではで、素晴らしいと思う。
- ・導入で、身近なことで感じた事を思い出させ、自分事として考え始めさせるというのがいいと思いました。
- ・生徒同士での意見交換でいろいろな考え方を共有できていたと思います。
- ・周りの人と意見を交わし合い、グループで多様な考えをまとめている様子が見れました。さすが中学生三年生と思いました。
- ・嫌われることを恐れるのは臆病か、臆病ではないか?というテーマが難しく、子供たちは若干混乱している気がした。積極的に挙手するわけではなかったが、指名された生徒はきちんと意見を述べていって、それぞれ個性があり、その子の考え方や性格が見えた。
- ・これから多々直面する内容をケーススタディ的に考えられる内容でよかったです。
- ・相手の気持ちを考えるというテーマで、よくある日常の事例を使い、生徒に気づきを与える良い授業だったと思います。中学生という多感な時期に、道徳の授業を通じて人の価値観を学んでいくことは、今後の人生に繋がる重要なことだと感じました。
- ・自分の内面に向き合える良い授業でした。相手を大事に考える子ども達を頼もしく思いました。この様な授業の大切さを再認識しました。
- ・手を挙げて発言するのではなく、ロイロノートで意思表示をしているのが新鮮だった。考え方方が偏ることなく様々な意見が出ていて興味深かったです。
- ・iPadを机の上に出しているチームはiPadに気をとられてしまい、発表資料の作成がはかどっていないかったように思う。一方で、iPadをしまっていたチームは発表資料にまとまりがあったと思う。
- ・一人一人が積極的に手を挙げ発言し、意見が途切れることなく活気ある授業でした。生徒さんの思考力や想像力の豊かさに感心し、こちらがハッと気付かされることもあり勉強になりました。
- ・日常生活で誰もが経験することのある場面設定で白黒つけられないグレーな部分について考えさせられました。
- ・ルールを守ることをやり優先することのバランスはとても難しいと感じました。自分自身も日常で迷うことがあるテーマなので、子どもにも一緒に考えもらいたいながら、大切にしていきたいです。

〔講演会、意見交換会について〕

- ・非常に興味深い内容で、ぜひ生徒さんも交えてお話をしたかった。どちらが正しいのか答えを出すことはできなくとも、双方がギリギリまで歩み寄って一致点を見いだすことが大切だと思った。先生方とも楽しくお話ができた。機会があったらまた参加したいと思う。
- ・非常に有意義な会でした。人と人との関わり方、考え方、また、子供達に日常生活の中で道徳を身につけていく術を改めて考えさせられるよい機会でした。
- ・意見交換会で先生とお話しさせていただきました。このような機会は滅多にないので、とても有意義でした。楽しかったです。
- ・先生方とも同じテーマで話しができ、とても有意義な時間でした
- ・すごい講師の方がお見えになっていたのに存じ上げなかったので、事前に詳細を情報提供していただけると良いなと思いました。
- ・帰宅後、公開講座の内容を家族と話しました。家庭での道徳教育を考える貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・教材を見て、周りの方と意見交換したり、疑似道徳授業を楽しめました。「教科としての道徳」は確かに昔とは異なり、論理的な指導やある程度の統一された指導要領が求められることがわかり、それに対する先生方の工夫を垣間見たようで、興味深かったです。
- ・講師の方の話の内容と進め方が良かったです。
- ・学校の授業だけでなく、地域でも生徒を見守り、豊かな心を育んでいくという姿勢を感じました。家庭と学校と地域とがそれぞれの役割を意識して一丸となり、生徒達の成長を優しく見守っていきたいと思います。
- ・保護者のみではなく、子供たちがどう思うか気になった。今は多様な考え方があり、理解を深めながらも自分の考えを持ち、社会をしっかりと生きて欲しいと願いました。
- ・よりよく生きるための道徳心を教える難しさを感じました。
- ・道徳というのは、学校の場だけで学ぶものではなく、家庭や地域がひとつになって初めて育まれていくものなので、いろいろな人と関わり合うことが大切だと改めて学ぶことができた。
- ・後半のバスの例題においての講義で、正解のない場面でも臨機応変かつ柔軟に対応できるよう視野を広げていくことが大切であるという言葉が特に印象深く残りました。
- ・先生方、保護者、地域の方皆さんで交流し意見交換できるいい機会だと思いました。